

シャクヤク特報 No.3



JA 中野市園芸課
JA 中野市シャクヤク部会

シャクヤクの出荷もほぼ終了しました。たくさんのお荷ありがとうございました。
今年は凍霜害も少なく順調に収穫を迎えられましたが、雹害の影響で収量減少してしまったものもあったかと思います。
目標の 150 万本の出荷には届かないですが、平均単価も高く順調に販売ができました。

次年度に向けて、収穫後の管理が生育を左右しますので、10 月まで株が健全な状態を維持できるように管理をお願いします。

●ハウス作型 ハウス被覆除去

- (1) シャクヤクの収穫が終わり次第、土壌が乾燥しないように被覆の除去を済ませて雨を当てるようにしてください。
次年度の芽が成長を始める時期になっていますので、太い芽を作るには肥料の吸収を促進する必要があり、肥料の吸収には水分が必要になります。

●株の管理

- (1) 収穫後の立ち本数が多い場合には風通しが悪くなり、株の中心から灰色かび病や、うどんこ病が発生しやすい状態になります。したがって、1 株の中で平均的な太さより細い茎を 5～10 本程度株本から間引いて太い茎を残すようにしてください。残す本数の目安としては、収穫前の株の立ち本数から 60～50%残す程度で間引いてください。

●収穫後防除

時期	使用薬剤と濃度	水 100ℓ当り 薬量 (ml, g)	10a 当り 散布量 (水)	対象病害虫
	収穫後は展着剤「ハイテンパワー 10,000 倍」を毎回加用する	10 ml		
6 月 10 日	ゲッター水和剤 1,000 倍 オルトラン水和剤 1,500 倍	100g 66g	300 ℓ	灰色かび病 ヨトウムシ、アブラムシ
7 月 10 日	モレスタン水和剤 2,000 倍	50g	300 ℓ	うどんこ病
7 月 20 日	トレノックスフロアブル 500 倍	200 ml	300 ℓ	灰色かび病
特別散布 8 月 1 日	(新規) ショウチノスケフロアブル 2,000 倍	50 ml	300 ℓ	うどんこ病 (2 回まで)

※ショウチノスケフロアブルはうどんこ病発生初期の散布が有効です。多発する園地、品種においては特効薬となりますので散布することを推奨いたします。

●施肥

- (1) 収穫後土寄せとともに施肥を 6 月末までに行ってください。圃場によっては数年にかけて草丈の不足や、蕾の肥大不足等の生育不良による等級の低下が見受けられます。収穫後の施肥が次年度の芽の成長に影響しますので必ず行いましょう。養成中の株につきましては、下記の表の 70%とし、株本へ施肥を行いましょう。
また、2～3 年に一度は土壌分析を行い肥料設計を見直し土壌バランスを適正な状態にしましょう。

【10a 当たりの施肥量】

肥料名	総量	施肥量 (kg)	
		収穫終了後	秋肥
LP コート 70 日タイプ	40kg (4 袋)	40	
炭 カ ル (粒)	100kg (5 袋)		100
リ ブ ミ ン	100kg (5 袋)		100
ま た は 堆 肥	2,000 kg		2,000
ワラ (カットワラ) 又は ケ イ ン ト ッ プ	500kg		

裏面もご確認ください⇒

●干ばつ対策

夏場に干ばつが続くと肥料が吸えなくなるため次年度の草丈の不足が見られる可能性があります。
極端に降雨が少ない場合には、様子を見て灌水を行ってください。

●緑肥の播種

商品名：おたすけムギ

撒き方

① 収穫終了後施肥と同時に播種

播種目安量：通路部分⇒5kg/10a

播種時期：6月中旬までに（できるだけ早めの播種をお願いいたします。）

※遅まきすると枯れずに越冬する場合があります

② 播種後に土寄せまたは浅く中耕し、土の中に種子が埋まるようにする。

（播種後の中耕ができない場合、そのままでも発芽はするが発芽率はやや落ちる可能性がある）

③ 耕起した後にトレファノサイド乳剤を地面が湿っている時に散布。

本剤 300 ml/10a

水 100～150 l/10a

特徴

- ・適度な条件であれば、3～4日後には発芽し他の作物より早く伸長し地面を覆う。（降雨により発芽）
- ・草丈は40cm前後で止まり、8月上旬ごろには地上部が自然に枯死するため刈り取りの必要はない。
- ・成長が進めば踏みつけても枯れることは無い。



発芽後の様子



7月下旬ごろに枯れ始め

【JA 中野市 園芸課】

Tel : 0269-223-3933

山田 : 080-6998-0407